

滋賀・浄琳寺遺跡

じょうりんじ

1 所在地 滋賀県長浜市元浜町

2 調査期間 一九八六年(昭61)七月

3 発掘機関 長浜市教育委員会

4 調査担当者 中井寛明

5 遺跡の種類 寺院跡・墓地跡

6 遺跡の年代 鎌倉時代～江戸時代

7 遺跡及び木簡出土遺構の概要

浄琳寺遺跡は長浜市内を北東から南西方向に流れる米川の下流域右岸に位置する。店舗改築工事に伴って遺物が発見されたことにより緊急調査を実施した。

立会調査のため遺構は明確にできなかったが、柿経が地表より一・五mから二

・〇mの間の暗灰色腐植土層の一角所からまとまって出土した。伴出遺物は宝篋

印塔の相輪の一部、弥生式土器壺片、土師器皿、天目

(長 浜)

茶碗・陶器等である。

8 木簡の釈文・内容

(1) 妙法蓮華經法師品第十 (280)×23×0.5 061

(2) ×(梵字) 妙心禪尼頓證大菩提也

×唵婆伽拏也娑婆可唵曩娑麼提拏娑婆可 (275)×25×0.2 061

柿経は未整理であるので概要のみ述べる。現在、完形と認められるものだけで総数一八七〇本を数える。形状は上部が圭頭をなし比較的幅が広く、長さは二四cm内外が多く、削り剃いで作られている。厚さが厚いものと薄いものがあり、筆致も二種類以上認められる。大半が法華経だが、(2)の如く願文様のものもあり注目される。

(中井寛明)

